

2020 年度・自己点検及び評価報告書

当日本語教育機関が法務省告示基準に沿って実施した 2020 年度の「自己点検及び評価」は以下の通りです。

実施日:2020 年 8 月 20 日

アイザック東京国際アカデミー

I. 点検評価項目ごとの確認・評価

【評価の目安】

A:十分に達成されている B:達成されている C:達成に向けて努力している D:達成されていない

点検・評価項目		確認・評価
1. 理念・教育目標		
1.1	教育理念、目的、目標、育成する人物像が明確になっている。	A
1.2	教育理念、目的、目標、育成する人物像が社会のニーズに合致している。	A
1.3	理念、目標を体現した生徒を現実に輩出できている。	C
1.4	教育の理念がすべての教職員に共有されている。	B

まとめ

理念、目標等は社会的ニーズに合致しているが、新型コロナの影響で留学ビザの学生が入学しておらず、卒業生も出ていないので、1.3は「C」である。

記載者: 緑川

2. 学校運営		
2.1	学校の運営体制が日本語教育機関の告示基準を満たしている。	B
2.2	理念や目的に沿った運営方針や事業計画が策定されている。	C
2.3	校長、主任教員による、教員、事務職員の統括ができています。	A
2.4	個人情報の管理状況と、教職員への適切な取扱い方法の周知が徹底されている。	A
2.5	教職員の勤務時間管理を適正に行っている。	A
2.6	職員ミーティングを定期的に行っている。	B

まとめ

運営体制は整っているが、新型コロナの影響で 2.2 については不透明な点があり、留学ビザの学生が未入学なので、通常通りにはできていない。

記載者: 緑川

川

3. 学習指導・カリキュラム		
3.1	教育目標に沿ったカリキュラムになっている。	B
3.2	カリキュラムの基本方針について、教職員間の共通理解ができています。	B
3.3	カリキュラムの進行状況について、教職員間の共通理解ができています。	C
3.4	期間ごとの各課程の到達目標が達成できている。	C
3.5	授業の進行に問題が生じている場合は、問題解決に至るまでのプロセスを	C

	重視した現実的な解決策が用意できている。	
3.6	カリキュラムの改善が定期的に話し合われている。	C
3.7	学生の出席を確実に把握している。	C
3.8	授業時の説明、板書、発問といった授業の実施方法が適切かつ効率的である。	C
3.9	視聴覚教材や教育機器などの教材・教具が活用されている。	C
3.10	生活体験を生かした学習、学生の興味・関心を生かした自主的・自発的な学習など、学生の主観面へのアプローチをとり入れた授業運営ができている。	C
3.11	「個の学習」と「クラスでの学習」のバランスが取れている。	C
3.12	学生のサイン・シグナルを読み取りながらの授業展開・クラス運営ができている。	C
3.13	学生への授業アンケートが定期的に行われている。	C
3.14	カウンセリングや教育相談体制が整備されている。	B
3.15	学生の満足度の把握をしている。	C

まとめ

学習指導・カリキュラムについては、事前準備と、実際に行うものがあり、後者については、新型コロナウイルスの影響で留学ビザの学生が未入学なので、現在はできていない。 記載者： 緑川
--

4. 学修成果		
4.1	成績評価、進級、修了の判定基準が明確になっている。	B
4.2	テストは確実に実施されている。	C

まとめ

評価時点で在籍者がいないため、実際に試験の実施及び評価の判定は未だ行われていないが、在学中の試験の実施時期、科目、評価方法等は準備している。 記載者： 若菜
--

5. 進路指導		
5.1	最新の進学情報を提供している。	C
5.2	進路相談の手順、方法が明確になっている。	B
5.3	進路指導が十分に行き届いている。	C
5.4	学力と進学希望先をふまえた上での進路指導が実施されている。	C
5.5	進路指導を行う上での個人資料や進路情報の収集・管理状況が適切かつ十分である。	C
5.6	学校として組織的に進路指導に取り組む体制ができている。	B
5.7	地域の教育機関、進学先との連携・協力ができている。	C

まとめ

評価時点で在籍者がいないため、進路指導は実施されていないが、各種進学先の要項等は学校で管理・提供し、学生個々に志望等のカウンセリングを行い、随時記録しながら、指導にあたる予定である。また、職員が進学先となる教育機関等と積極的に連絡していく予定。 記載者：若菜

6. 生活指導		
6.1	母国と日本の文化の違いに対する、適切な指導・アドバイスができています。	C
6.2	アルバイト状況について、学生からのヒアリングと情報管理が適切に行われている。	C
6.3	アルバイトに関する問題が生じていない。	C
6.4	地域社会・アルバイト紹介業者等との連携体制に問題がない。	C
6.5	出席状況の管理とフォロー体制が適切である。	B
6.6	母国の文化を尊重しつつ、日本の文化を受け入れ、日本社会の一員としての日本での成長、人格形成につながる指導やアドバイスが行えている。	C
6.7	体験活動、行事などの実施・管理体制ができています。	B

まとめ

評価時点で在籍者がいないため、実施の評価は行えないが、入学をしたことを想定した管理・実施のための体制は整っている。 記載者：林

7. 保健管理		
7.1	対象となる学生全員が国民健康保険に加入している。	C
7.2	学生の薬物乱用防止、心のケア等を含んだ指導体制が取れている。	B
7.3	健康診断の予定と実施状況、さらに、診断結果において問題があった学生への対策をとっている。	C
7.4	学校の衛生管理を行っている。	A

まとめ

評価時点で在籍者がいないため、実施の評価は行えないが、入学をしたことを想定した管理・実施のための体制は整っている。また、コロナ対策の消毒や空気清浄等を含め、学校の衛生管理には十分に気を付けている。 記載者：林

8. 安全管理		
8.1	危機管理マニュアル等の作成及び内容の周知が行われている。	B
8.2	気象警報発令時の措置、災害発生時の避難方法を定め、教職員及び学生に周知している。	C
8.3	施設、設備の定期的な安全点検が行われている。	B

まとめ

学生が安心して勉強できるように徹底的にリスクを排除し、安全管理の基本を理解し、常に最新の気象情報を手に入れ、天気を予測し、早めに判断し、施設や設備などを定期的に確認しています。

記載者： □

イ

9. 教職員研修

9.1	教職員の教育力及び指導力強化のための研修等を実施すると共に、他機関が実施する研修会等への参加を促している。	B
-----	---	---

まとめ

校内的には、教師および職員のための学習会等を適宜実施しているが、新型コロナの影響により、他機関による研修会が開催されていないので、参加できない現状がある。 記載者： 緑川

10. 入学者の募集

10.1	入学者の募集活動が告示基準に沿って適切に行われている。	A
10.2	学校情報が正確に伝えられている。	A
10.3	入学者の募集について、今後の見通しが安定している。	C
10.4	授業料の請求、支払い、返金等が学則に沿って行われている。	A

まとめ

告示基準に沿って学校情報の提供と募集活動を仲介機関や入学者に適切に行っている。 10.3については新型コロナの影響が出ている。 記載者： □イ

11. 財務

11.1	中長期的に学校の財務基盤が安定している。	C
11.2	設置母体と学校の経営が、明確に区分されている。	C
11.3	財務について会計監査が適切に行われている。	B
11.4	予算・収支計画が有効かつ妥当なものとなっている。	C

まとめ

当校は新規校として4月に第一期生が入学予定であったが、新型コロナの影響で留学ビザの学生が入学できていないため、達成に向けて努力中である。 記載者： 緑川

12. 学校情報の公開

12.1	ホームページ等で学校情報を適正に公表している。	A
12.2	法令上、または社会通念上、適切な情報を公開している。	A
12.3	入学希望者や現地の教育機関などへ、適切な学校情報を提供している。	A

まとめ

告示基準に基づき、必要情報を適正に日本語、英語、ベトナム語でホームページに公開している。また、スカイプやメールなどの手段を用いて、募集要項等を仲介機関に送っている。 記載者：林

13.教育環境整備		
13.1	学校運営に必要な設備等を備えている。	B
13.2	教育機器、教材、教具、図書が十分に整っている。	B

まとめ

告示基準に定められる教室等の施設は備わっている。また、機器及び当面の教材に不足はない。図書、教具については、今後クラスが増加し、各クラスのレベル差が生じるに合わせ、随時相応のものを充実させていく。 記載者：若菜

14.法令遵守		
14.1	法令順守に関する担当者を特定している。	C
14.2	教職員のコンプライアンス意識を高めるための取り組みを行っている。	C
14.3	個人情報保護のための対策が取られている。	B
14.4	入国管理局、関係官庁等への届出、報告を遅滞なく行っている。	A

まとめ

法令順守について特に担当を決めているわけではないが、14.1～4について、事務的な面は事務担当者が、教務的な面は教務担当者が責任を持って行う体制を取っており、現時点までの届出、報告は遅滞なく行っている。 記載者：緑川

15.地域貢献・社会貢献		
15.1	日本語学校について地域住民の方々に理解を促す働きかけができている。	B
15.2	近隣のごみ拾い等のボランティア活動への参加や地域貢献ができている。	C
15.3	地域の文化施設や自然、伝統行事等を学生指導に取り込み、活用できている。	C
15.4	地域住民との交流を行い、地域住民からの意見や要望等を把握し、またその意見や要望に応えられたかどうか、公表する仕組みがある。	B

まとめ

新規校であり、新型コロナの影響で、入学する予定であった留学ビザの学生が未だ入学していないので、地域社会との関わりについては、今度、実現に向けて努力していきたい。 記載者：緑川

II. 総合評価と改善計画

総合評価

【達成状況】

当校は新規校であり、本年 4 月に第一期生を迎える予定だったが、世界的な新型コロナウイルス感染症の影響により、現時点では、留学ビザの学生の受け入れができていない。受け入れのための万全の態勢を準備したつもりではあるが、留学生の入学については、今後の推移を待つ以外にないと思われる。

【課題・改善計画等】

今日のコロナ拡大は、誰もが予測できなかった事態であり、また、今後の見通しも難しいため、情報収集等を継続し、状況の変化に応じた、より良い対応に努めていきたい。

以上

アイザック東京国際アカデミー校長 緑川